

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

入学試験 ガイド

2025 年

4月入学・9月入学
国内学生入学試験向け



不測の事態の発生等により、やむを得ず入学試験の内容（試験日程、出願要件、選考方法等）を変更することがあります。変更内容は、本学「受験生サイト APUmate」にて公表します。出願、受験に際しては、必ず最新情報を確認してください。

総合型選抜は出願も試験も
ALL オンライン！
全国で受験可能



入学者の受け入れ方針

アドミッション・ポリシー

学士課程

立命館アジア太平洋大学（APU）の基本理念「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」に共感し、世界から集う学生とともに学び、異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、多文化・多言語キャンパスからなる大学コミュニティにおいて日英両語で積極的に交流し、相互の学びに貢献する意思を持った学生を求める。

このような学びを行うためにAPUに入学する学士課程の学生には、以下の資質・能力などを有することを求める。

- 1) 知識・技能
 - 大学での学習に必要な基本的知識
 - 大学での学習を遂行するために必要な英語または日本語の能力
- 2) 思考力・判断力・表現力
 - 主体的に課題を発見し問題解決に取り組むためのクリティカル・シンキングと分析力、創造力
 - 情報を正確に読み解く力、自分の考えを的確に表現し論理的に説明する力や数的思考力
- 3) 主体性・多様性・協働性
 - 目標に向かう行動力、やり抜く力
 - 他者との相互理解に基づき他者を巻き込みつつ、他者に貢献する態度
 - 多文化教育環境を十分に活用し「多文化協働学修」に参画する意欲

アジア太平洋学部

- 1) アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会における「文化・社会・メディア」「国際関係」「グローバル経済」についての興味・関心
- 2) 社会、政治、経済を中心に社会科学の分野を勉強していくことができる基礎的な力
- 3) アジア太平洋学部での専門領域の文献を理解し、論述できるための基本的な読解力と文章力
- 4) 自分の興味、関心を追求し、それを明確に表現する力
- 5) 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それらをまとめあげる力

国際経営学部

- 1) 経営戦略・リーダーシップ、マーケティング、会計・ファイナンス、アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメントを含むグローバル経営やビジネスについての興味・関心
- 2) 創造力、リーダーシップスキル、問題解決力を有し、さらにそれを伸ばす力と意欲
- 3) ビジネスを通してポジティブな変化をもたらし、アジア太平洋地域や世界におけるインクルージョンと持続可能性に向けてアクションを起こす意欲

サステナビリティ観光学部

- 1) 持続可能な社会と観光についての興味・関心
- 2) 国内外の様々な地域へ関心を持ち、地域の持続可能性に向けて課題解決に取り組む意欲
- 3) 学内外における学びを通じ、様々な社会のアクターと協働して学問横断的に学ぶ意欲

入学選抜においては、APUにおける学びに適した学部学生を受け入れるために、上記の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を総合的に判断する多様な入学選抜を行う。

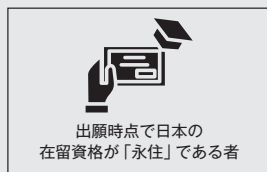
目次 CONTENTS

2025年度入試 TOPICS	P3	一般選抜	P19
出願前の6ステップ	P6	一般選抜の出題方針と学習のポイント	P26
APU入試カレンダー	P11	編入学試験・転入学試験	P30
総合型選抜	P12	出願から合格発表までの流れ／国内学生入試の受験で特別な支援を必要とする方へ	P31
総合評価方式・論述型	P12	入学検定料／入学手続時納付金／学費／寮費	P32
総合評価方式・探究型	P13	奨学金制度	P33
活動アピール方式	P15	入試結果データ	P35
帰国生徒（海外就学経験者）選抜	P17	APUの入試情報を知る	P38
国際バカロレア（IB）選抜	P18		

「総合型選抜」対象者について



or



上記のいずれも当てはまらない方は「一般選抜」および「国際学生入学試験」になります。詳しくは入学試験要項をご覧ください。

入学試験要項

出願要件等の詳細は本学受験生サイトより「入学試験要項」をダウンロードください。

総合型選抜 2024年6月下旬

一般選抜 2024年11月

受験生サイト
APUmate



https://www.apumate.net/admissions_guide/download/

募集人数

総合型選抜

	総合評価方式		活動アピール方式	帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜	国際バカロレア (IB) 選抜	合計
	探究型	論述型				
アジア太平洋学部	27		51	15	7	100
国際経営学部	27		48	13	7	95
サステイナビリティ観光学部	27		48	13	7	95
全体	81		147	41	21	290

※上記は4月入学と9月入学を合算した人数です。

一般選抜

	2月入試				3月入試			合計
	共通テスト	独自			共通テスト	独自		
	7・5・3	前期	英語	併用	5・4・3	後期	共通+面	
アジア太平洋学部	40	35	20	20	5	3	2	125
国際経営学部	35	25	15	15	5	3	2	100
サステイナビリティ観光学部	35	20	10	10	5	3	2	85
全体	110	80	45	45	15	9	6	310

※共通テスト、共テ：共通テスト利用方式

2月入試では3教科型～7科目型、3月入試では3教科型～5科目型を選択可能

※独自：独自入試

※英語：英語重視方式

※併用：共通テスト併用方式

※共テ+面：共通テスト+面接方式

編入学・転入学試験

	編入学		転入学	
	2回生	3回生	2回生	3回生
アジア太平洋学部	5名[※]	5名[※]	5名[※]	5名[※]
国際経営学部	5名[※]	5名[※]	5名[※]	5名[※]

※他の入試方式を含みます。出願状況および選考の結果によっては、合格者が募集人数を下回る場合があります。

※サステイナビリティ観光学部は転入学・編入学ともに募集を行いません。

2025年度入試TOPICS

これまでの入試方式が引き継がれ、さらに受験しやすくリニューアル！

POINT 1 9月入学のチャンス 大幅に拡大！

チャンス拡大

2024年
8回



2025年
14回

◆9月入学はこんな人におすすめ！

- ・海外の学校から受験する方
- ・入学までの半年間で語学の勉強や高校時代の活動を継続したい方（余裕をもって大学生活の準備が可能!）
- ・より多くの留学生と同じタイミングで入学したい方

⇒ 入試カレンダーはP11へ。

POINT 2 一般選抜で英語基準が選択可能に！

◆大学の授業を最初から『英語で学ぶ』！

これまで一般選抜は日本語基準でのみ出願が可能でしたが、英語レベルの基準を満たす場合に、英語基準での入学の選択ができます。ただし、一般選抜における筆記試験はこれまで同様、日本語でのみ実施します。

⇒ 英語基準の詳細はP8をご覧ください。

一般選抜
すべての方式

POINT 3 試験時間の短縮

探究活動に取り組んだ経験が活かせる入試「探究型」。設問数を減らすことで、より取り組みやすくなりました！

総合型選抜
総合評価方式
探究型

試験時間120分 → **90分**に短縮
設問5問 → **4問**



POINT 4 録画面接を一部方式で導入

期間内に録画面接を実施し提出する方式に変更します。1段階選考となり、受験する負担が軽減されました！
日本国外に滞在中の方も、時差の影響なく面接を受けることができます。



総合型選抜
総合評価方式
論述型

国際
バカロレア
(IB) 選抜

帰国生徒
(海外就学経験者)
選抜

一般選抜
共通テスト
+ 面接方式

POINT 5 共通テスト受験者のチャンス拡大！

共通テスト方式の定員UP！

すべての学部で2月の共通テスト方式の募集定員を5名ずつ増員します。

一般選抜
共通テスト
方式

合格必要条件として求めている

共通テストでの60%の得点取得要件を廃止！

共通テストの点数と録画面接との総合点により判定します。また、出願書類として求めている志望理由書も廃止しますので、さらに受験しやすくなりました。

	2月入試				3月入試			合計
	共通テスト方式 定員 UP	独自方式			共通テスト方式	共通テスト ＋ 面接方式		
		前期方式	英語重視 方式	共通テスト 併用方式	後期方式			
							5科目型 4科目型 3教科型	
アジア太平洋学部	40	35	20	20	5	3	2	125
国際経営学部	35	25	15	15	5	3	2	100
サステナビリティ観光学部	35	20	10	10	5	3	2	85
全体	110	80	45	45	15	9	6	310



一般選抜
共通テスト
+ 面接方式

POINT 6 解答方法にタイピング入力を新たに導入

総合評価方式論述型・探究型について

これまでPCで設問を表示しながら解答用紙（紙）に筆記する方法のみでしたが、新たにPCで直接タイピングする方法を選べるようになりました！



総合型選抜
総合評価方式
論述型・探究型

⇒ オンライン解答試験の詳細はP9をご覧ください。

Pick up!

英語外部資格試験活用チャンス拡大

一般選抜における外国語英語外部資格試験の得点換算利用※

一般選抜の**すべての方式**において、英語外部資格試験の得点を活用できるようになりました！
詳細はP19をご覧ください。

	英語科目の換算得点率			
	100%	90%	75%	60%
TOEFL iBT® Test	83	70	55	42
IELTS (Academic Module)	6.5	6.0	5.0	4.5
TOEIC® L&R/S&W Test	1700	1600	1340	1150
実用英語技能検定	2450	2304	2142	1980
TEAP	342	318	267	225
TEAP CBT	698	600	508	420
GTEC4技能 (Official Score Certificateのみ)	1280	1215	1080	960
ケンブリッジ英検	175	169	150	140
PTE Academic	72	60	50	42

各英語外部資格試験のスコア対照表※

	TOEFL iBT®	IELTS (Academic Module)	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
活動アピール方式 活動実績 基準	42	4.5	1150	1980	225	420	960	140	42
1回生英語基準入試出願資格	75	6.0	1600	2304	318	630	1215	169	50
2回生編転入 日本語基準出願資格	55	5.0	1340	2304	—	—	—	149	42
3回生編転入 日本語基準出願資格	61	5.5	1420	2304	—	—	—	153	45
2・3回生 編転入英語基準出願資格	85	6.5	1730	2630	—	—	—	176	58

〔英語外部資格試験を活用するうえでの留意事項〕

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2022年10月1日以降のものを有効とします。

※TOEFL iBT® Test は、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scores に加え、MyBest™ Scores での出願も可能です。

※IELTS について、ワンスキルリテイク (IELTS One Skill Retake) も受け付けます。

※IELTSについては、「英語基準」出願者の場合は1回生入学は各項目5.5以上、編入学・転入学は各項目6.0以上であることとします。

※TOEIC® (L&R/S&W) については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interview も含みます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

※GTECは、オフィシャルスコアに限りです。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含みます。

<詳細については、入学試験要項で確認してください。>

Pick up!

UNITE Program (学部指定AI学習プログラム) 修了で活動実績として出願可能、入試の新しいチャレンジメソッド

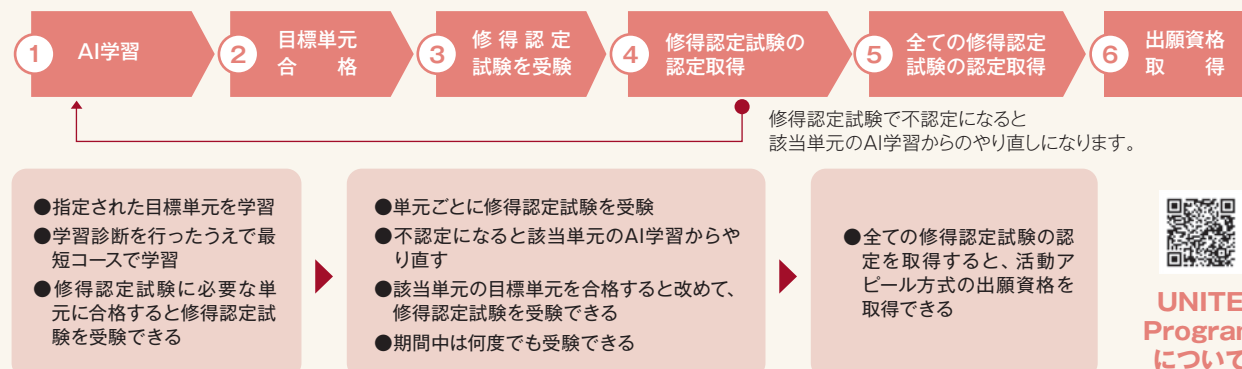
各学部が指定した入学後に必要な数学の単元をatama plus社のAI教材「atama+」を使用し学びを進めます。

修了すれば活動実績として提出ができ、指定した学部の「活動アピール方式」に出願することができます。

※活動アピール方式を出願するための必須条件ではありません。

出願資格取得までの流れ

atama+



総合型選抜の併願制度 一般選抜の併願方法はP20を確認してください。

選考チャンスが最大**9回** + 帰国生徒（海外就学経験者）選抜／国際バカロレア（IB）選抜

他大学との併願も可能

一般選抜との併願も可能

✓ 募集区分が異なれば、同じ方式で何度受けてもOK

出願期間

それぞれが 1つの募集区分	総合評価方式〈探究型〉	4月 or 9月	第1回	
		4月 or 9月	第2回	
	総合評価方式〈論述型〉	4月 or 9月	第1回	
		4月 or 9月	第2回	
	活動アピール方式	4月 or 9月	第3回	
		4月 or 9月	第1回	
		4月 or 9月	第2回	
		9月のみ	第4回	

1つの募集区分で
1学部・入学時期を
選択

		第1回	第2回	第3回
総合評価方式〈探究型〉	4月	○ APS・4月入学 で出願	○ ST・4月入学 で出願	
	9月			○ APS・9月入学 で出願

✓ 出願資格を満たせば、複数の入試方式を併願可

試験日が同日でも
複数方式で
受けてもOK
(大学で試験時間が
重複しないよう調整します)

同一学部
異なる学部いずれも
出願OK

	第1回	第2回	第3回
総合評価方式〈探究型〉	○ STで出願	○ APSで出願	
総合評価方式〈論述型〉	○ APSで出願		
活動アピール方式	○ APMで出願		

APS：アジア太平洋学部 APM：国際経営学部 ST：サステナビリティ観光学部

NEW [2回目以降の出願] 書類流用について

「調査書等の流用希望者」の項目で「希望する」を選択した場合、一度提出された学校で発行される書類のみ、再提出は不要です。2回目以降の出願時は追加で書類の送付が必要な場合、その書類のみ送付してください。

流用可能*な書類

調査書
(成績証明書)

英語能力
認定書

在学期間証明書
もしくは在学期間を
証明する書類

卒業証明書

*書類は初回出願の受付開始日からさかのぼって3か月以内に作成されたものを提出してください。既に高校を卒業し成績に変更がない場合には出願時点で最新の証明書を提出してください。

*一般選抜と総合型選抜間の流用はできません。

*詳細は入学試験要項をご覧ください。

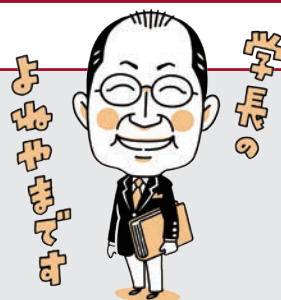
出願前の6ステップ

01 | 入試方式を知る



入試方式選び方ガイド

あなたの「強み」や「経験」を活かせる入試方式がきっと見つかる！



総合型選抜

小論文対策を活かしつつ、APUでの学びや様々な活動への意欲を伝えたい！

▶ **「総合評価方式・論述型」** ⇒P12

高校時代に取り組んだ「探究的な学び」で深めた思考力を活かしたい！

▶ **「総合評価方式・探究型 ～ロジカル・フラワー・チャート型～」** ⇒P13

高校時代に取り組んだ活動（英語外部資格試験・課外活動・留学経験等）をアピールしたい！

▶ **「活動アピール方式」** ⇒P15

海外での学修経験、生活を通して得た学びを活かしたい！

▶ **「帰国生徒（海外就学経験者）選抜」** ⇒P17

高校時代に取り組んだ国際バカロレア（IB）のディプロマ取得に至る学びを活かしたい！

▶ **「国際バカロレア（IB）選抜」** ⇒P18

一般選抜

得意な教科を活かして受験したい！

▶ **本学独自試験「前期方式」「英語重視方式」「共通テスト併用方式」** ⇒P22

国公立大学受験対策を活かして受験したい！

▶ **大学入学共通テストを利用した各方式** ⇒P23

3月入試で最後まで頑張りたい！

▶ **本学独自試験「後期方式」／共通テスト利用「共通テスト＋面接方式」「共通テスト方式（後期型）」** ⇒P24

英語外部資格の得点を受験で活用したい！

▶ **「一般選抜」すべての方式（本学独自試験、共通テスト方式）** ⇒P19～

02 | 希望する入学時期を選択する(4月 or 9月)

総合型選抜・編入学・転入学試験

※2025年4月以降に選考をする総合型選抜、編入学・転入学試験は9月入学が対象になります。

一般選抜 すべての方式

4月

出願時に選択

9月

4月

03 | 志望する学部を決める

全学部同じ方式の入学試験を実施しますので、学部別の対策は不要です。併願の仕組みについてはP5、P20をご覧ください。各学部の学べる内容はQRコードからご覧ください。

サステナビリティ
観光学部
ST



国際経営学部
APM



アジア太平洋学部
APS



04 | 初年次教育寮「APハウス」の入寮希望有無を選択する

国内学生の92%が入寮

入学後の1年間、希望する方は全員が入寮可能です。出願時のみ申請ができます。APハウスの詳細はQRコードからご覧ください。



APハウス寮費減免制度について

入学後の経済支援を目的にAPハウスの寮費の半額が給付される制度です(最大60名)。出願とは別の期間内に申請が必要です。

⇒詳細はP33をご覧ください。



入寮期間・入学手続き時に納付する寮費前納金

入寮期間		4月・9月入学者共通 寮費前納金 (寮費減免制度利用者含む)	
4月入学	9月入学		
1・2年生入学 2025年3月下旬～2026年2月末日 3年生入学 2025年3月下旬～2027年2月末日	1・2年生入学 2025年9月中旬～2026年8月末日 3年生入学 2025年9月中旬～2027年8月末日	入寮費	32,000円
		敷金※1	98,000円
		寮費※2	104,000円
		合計	234,000円

※1 寮に居住するための保証金です。寮費の未納がある場合、または入寮者の過失によって発生した居室の修繕については敷金より精算し、残額については退去後に返金します。

※2 寮費：(内訳) 4月入学者 2025年4月分寮費52,000円、5月分寮費52,000円(APハウス5基準)、9月入学者 2025年9月半月分寮費26,000円、10月分寮費52,000円、11月半月分寮費26,000円(APハウス5基準)、APハウス1または2に入寮する方は、入寮後に納める寮費にて差額分を減額します。

05 | 国内学生優秀者育英奨学金の希望有無を選択する

4年間の授業料を全額免除します

APU2030ビジョンならびにアドミッションポリシーに示す力および英語外部資格試験スコア等を含む出願書類、入学試験成績を総合的に判断し、入学試験の成績優秀者に支給される奨学金です。出願時に希望有無の選択が必要となります。最大4年間で580万円（見込み）の授業料が全額免除されます。

奨学金の希望有無は、合否に一切影響しません。本奨学金の受給対象となっても他大学への受験、他大学への入学を制限することはありません。

⇒詳細はP33をご覧ください。

06 | 自身の英語力に合わせて「入学基準言語」を選ぶ

出願時に英語が不安でも大丈夫。ご自身の英語力にあわせて選択してください。

入学基準言語って何？

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英二言語教育」です。入学希望者は入学試験の出願時に入学基準言語として「日本語基準」、「英語基準」のいずれかを選択します。入学時には新入生全員が入学基準言語とは反対の言語のプレイスメントテストを受け、その結果をもとに、それぞれの能力に応じた適切なレベルから必修言語科目の履修を開始します（3回生入学者を除く）。

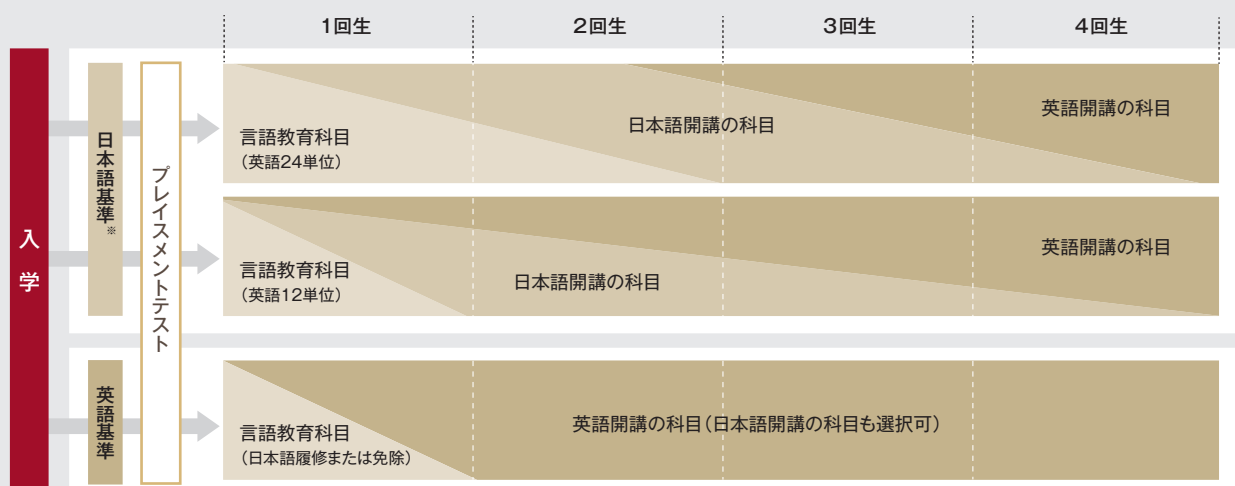
日本語基準とは？

日本国内の高等学校を卒業した国内学生の大多数は日本語基準で受験し、入学しています。日本語基準の国内学生は、1～2回生時は日本語開講の共通教養科目や専門教育科目を中心に履修します。同時に、言語教育科目「英語」を履修し、英語開講の専門教育科目を履修できる水準を目標に学修し、各々の英語力の伸長に応じて英語開講の履修科目数を段階的に増やしていきます。日本語基準の国内学生については、入試方式によっては出願資格として英語力に関する要件を定めていませんが、入学時における標準的な英語力水準は、TOEFL iBT® Test45～61点程度、IELTS (Academic Module) 5.0～5.5程度、英検® CSE2.0スコア1980点以上程度です。なお、日本語基準の国内学生については、英語開講の共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得することを卒業の要件としています（卒業に必要な単位数：124単位）。

英語基準とは？

入学当初から英語開講の共通教養科目や専門教育科目を履修しますので、中学・高校に相当する課程において英語で教育を受けた方や、英語圏の学校への長期留学を経験した方などに適しています。1回生入学で英語基準の国内学生については、TOEFL iBT® Test75点相当以上のスコアを有すること等を受験時の出願資格としていますが、入学者の標準的な英語力水準は、TOEFL iBT® Test80～100点程度、IELTS (Academic Module) 6.0～6.5程度、英検® CSE2.0スコア2304点以上程度です。なお、英語基準で入学した学生については、言語教育科目「英語」を必修とはしていませんが、選択科目として一部の「英語」科目の履修を認める場合があります。

日本語基準は「英語科目」が必修！英語の履修トラック



※日本語基準の方も英語言語クラスが準上級クラス（IELTS6.0相当）でスタートすると、英語開講の授業も最初から選択できます。

オンライン解答試験

●対象方式

総合型選抜 | 総合評価方式・論述型

総合型選抜 | 総合評価方式・探究型

●オンライン試験監視システムについて

AIによる本人認識や動作・物体解析による公正・平等なオンライン試験監視システム「スマート入試」を用います。受験者のご自宅や学校などパソコンとお手持ちのスマートフォンを使用して試験を監視します。

●解答方法の選択

試験問題は、試験当日にオンライン上に表示されます。解答方法はタイピングまたは記述式を出願時に選択します。

NEW

タイピング式

画面に表示される試験問題についてPCで直接解答を入力します。



記述式

画面に表示される試験問題について、解答用紙を使って手書きで解答を記入します。



●事前準備について

事前準備

マイクおよびカメラが付いているパソコン・タブレット、スマートフォン、スマートフォンスタンド、スマートフォンの充電ケーブルを用意する。
インターネット環境(Wi-Fi/有線LAN)が安定している場所(自宅や学校などの静かで明るい場所)を確保する。

【機器・機材の準備】

①カメラ・マイク付きのパソコンまたはタブレット(iPadのみ)

試験途中は、バッテリーが切れないよう、電源に接続する。
カメラ・マイクはONにする。



Windowsパソコン
OS: Windows10以降
ブラウザ: Chrome/Edge/
Firefox

※Windows7、8、8.1は使用不可。
※ブラウザのバージョンは最新版を使用すること。
※「Internet Explorer」での実施は不可。

Macintosh/パソコン
OS: MacOS
ブラウザ: Chrome/
Edge/
Safari/
Firefox

※ブラウザのバージョンは最新版を使用すること。



タブレット(iPadのみ)
ブラウザ: Safari

※ブラウザのバージョンは最新版を使用すること。
※「Firefox」「Chrome」での実施不可。
タブレットを使用する際は以下の条件にて対応すること。
①横置きで使用する。
②タブレットスタンドを使用すること。

②スマートフォン

充電用ケーブル: 試験中にバッテリーが切れることのないよう用意する。



OS: iPhone
ブラウザ: Safari
※バージョンは最新版を使用すること。

OS: Android
ブラウザ: Chrome
※バージョンは最新版を使用すること。

③その他必要となるもの



スマートフォンスタンド
※揺れの少ない安定した
スタンドを用意すること。
※充電しながら設置できること。

事前 リハーサル (出願後に メールで案内)

試験当日の受験の流れと使用する機器の操作を体験するため、事前リハーサルを実施。

ライブ面接／録画面接について

ライブ面接

●対象方式

総合型選抜
総合評価方式
探究型

総合型選抜
活動アピール
方式

●実施方法



ZOOMを用いた
オンライン面接



指定された日時に
面接を受ける



面接官による質疑応答
リアルタイム面接

●使用機器と受験環境を準備

- ①マイクおよびカメラが付いているパソコン・スマートフォン・タブレットを用意する。
- ②ネットワーク環境が安定している場所（自宅や学校などの静かで明るい場所）を確保。試験時間中は、同室に受験生本人以外がいないようにすること。
- ③Zoomアプリをインストールし、面接参加方法を出願後に受験票で確認する。

録画面接

●対象方式

総合型選抜
総合評価方式
論述型

国際
バカロレア
(IB) 選抜

帰国生徒
(海外就学経験者)
選抜

一般選抜
共通テスト
+面接方式

●実施方法



デジタル面接システムを
用いた面接



期間内に録画し、
提出する



画面に表示される質問に回答
する様子を録画し、提出

●使用機器と受験環境を準備

- ①マイクおよびカメラが付いているパソコン・スマートフォン・タブレットを用意する。
- ②ネットワーク環境が安定している場所（自宅や学校などの静かで明るい場所）を確保。試験時間中は、同室に受験生本人以外がいないようにすること。
- ③デジタル面接システムで練習問題を実施する。詳しくは入学試験要項をご覧ください。

総合型選抜

ALLオンラインで完結！
ご自宅等から受験が
可能です。



一般選抜

全国31試験場で受験可能です。
→詳細はP19をご確認ください。



APU入試カレンダー

入試日程をよく確認のうえ、事前に余裕を持って準備しましょう。

4月入学・9月入学共通

			2024年9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月
総合型選抜	総合評価方式 論述型	第1回	9/2~17 9/28		11/1			
		第2回		10/18~11/5 11/16		12/12		
		第3回			11/21~12/4 12/14		1/30	
	探究型 ～ロジカル・フラー・ チャート型～	第1回	9/2~17 9/28	10/19	11/1			
		第2回			11/21~12/4 12/14		1/25 または1/26	2/6
	活動アピール 方式	第1回	9/2~17	10/12 または10/13	11/1			
		第2回		10/18~11/5	11/30 または12/1	12/12		
		第3回				12/2~16	1/25 または1/26	2/6
	帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜	第1回	9/17~10/1		11/1			
		第2回				12/12~23	1/30	
	国際バカロレア (IB) 選抜	第1回				12/12~23	1/30	
2~3回生 編入・転入学(注)		第1回		10/18~11/5	11/30 または12/1	12/12		

4月入学対象

		2024年12月	2025年1月	2月	3月	4月	5月
一般選抜	前期方式		1/6~22	2/1~4 2/17			
	英語重視方式		1/6~26	2/7 2/20			
	共通テスト併用方式		1/6~26	2/8~9 2/20			
	共通テスト方式 (後期型以外)		1/6~17	2/17			
	後期方式			2/12~26 3/7 3/18			
	共通テスト + 面接方式			2/12~26 3/18			
	共通テスト方式 (後期型)			2/12~3/1 3/18			

9月入学対象

		2024年12月	2025年1月	2月	3月	4月	5月
総合型選抜	活動アピール 方式				3/7~21	4/26	5/8
	帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜				3/7~21		5/8
	国際バカロレア (IB) 選抜				3/7~21		5/8
	2~3回生 編入・転入学(注)				3/7~21	4/26	5/8

(注) 2~3回生編入学・転入学は、アジア太平洋学部・国際経営学部のみ対象。

2025年
4月入学2025年
9月入学

総合型選抜

総合評価方式・論述型

日本語
基準優秀者
奨学金併願
可詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部・学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を
受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 文章を読み解き、その内容を踏まえて、自身の考えや意見を論理的に分かりやすく表現し、構成する力に自信のある方
- 様々な分野の文章に親しみ、豊かな思考経験をさせてこられた方
- 将来の目標を持ち、目標を踏まえて入学後の具体的な学修計画を立てて、意欲的に取り組みたい方

選考方法

■ 1段階選考

出願期間内に提出

出願期間終了後大学が指定する期間内に提出

指定された日時に実施

出願書類
による審査

+

録画面接

出願期間終了後、翌日（休日・祝日を除く）に大
学から出願時に登録されたメールアドレスへ実施
案内を送付します。提出期間は約10日間です。

+

オンライン解答試験

社会で生起する様々な問題に関する評論
文・エッセイ等の課題文を読み、小論文を
作成（試験時間90分、記述量1,200字）



評価のポイント

〈出願書類〉

●志望学部への興味・関心 ●入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力 ●英語運用能力

〈録画面接〉

●APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、成長することができるか・論理的思考力 など

〈オンライン解答試験（小論文）〉

●課題文に対する読解力 ●論理的思考力 ●文章表現力

出願期間 試験日 合格発表日

入学時期	募集 区分	出願期間 (最終日消印有効)	選考	合格発表日
			試験日	
2025年4月 2025年9月	第1回	2024年 9月2日(月)～9月17日(火)	9月28日(土)	11月1日(金)
	第2回	2024年 10月18日(金)～11月5日(火)	11月16日(土)	12月12日(木)
	第3回	2024年 11月21日(木)～12月4日(水)	12月14日(土)	2025年1月30日(木)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

(1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。

(2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または卒業見込み*の者等、大学入学資格を有する者。

※〔4月入学〕2025年3月31日までに 〔9月入学〕2025年9月20日までに

この方式の対策は？

- 志望理由書では「なぜAPUで学ぶのか」「あなたの将来とAPUの学びはどう繋がるのか」などについて、自分の考えを整理しましょう。
- 小論文対策をしっかりとってください。
本学の小論文は一般的な「小論文試験」と言われるものと大きな違いはありません。高等学校等での学習に
しっかりと取り組むことに加えて、普段からご自身の興味関心に合わせて、本や新聞を読んでおくことが重要
です。その上で、自分の考えを文章にまとめること、またそれを誰かに読んでもらい批評してもらうことも対
策になるでしょう。また課題文の内容やポイントを正確かつ素早く把握することも重要です。設問の意図を
理解して、自分の主張を論理的に表現する練習をしましょう。
- 面接に向けて志望理由を明確にし、それをわかりやすく伝えるための準備をすることも大事ですが、普段か
ら社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしておきましょう。

過去の出題例は
こちら

総合型選抜

一般選抜

出題方針と学習のポイント

編入学・転入学試験

学費等・奨学金

入試結果データ

2025年
4月入学2025年
9月入学

総合型選抜

総合評価方式・探究型 ～ロジカル・フラワー・チャート型～

日本語
基準優秀者
奨学金併願
可詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を
受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 自身の中から湧き起こる興味や意欲に基づき、「問い」をたて、情報を集めて検証し、解を見つける力＝探究力に自信のある方
- 中学校、高等学校における探究学習やその他の探究的活動に熱心に取り組んでこられた方
- 社会的・国際的課題に強い関心を持ち、その解決とよりよい世界の実現に向けて取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

オンライン解答試験

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、
自分なりの答え（仮説）を設定した上で、設問に
解答（試験時間90分）



評価のポイント

- 〈出願書類〉
 - 志望学部への興味・関心
 - 入学後の学修等に対する意欲・熱意、
記述の論理性や説得力
 - 英語運用能力
- 〈オンライン解答試験〉
 - 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた
探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など

第1次選考
合格者

■第2次（最終）選考

ライブ面接／個人（20～30分）
（口頭試験を含む）

評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく
質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを
積極的に活用し、学び成長することができ
るかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 合格発表日

入学時期	募集 区分	出願期間 （最終日消印有効）	第1次選考		第2次（最終）選考	合格発表日
			試験日	結果通知日	試験日*	
2025年4月 2025年9月	第1回	2024年 9月2日（月）～9月17日（火）	9月28日（土）	10月11日（金）	10月19日（土）	11月1日（金）
	第2回	2024年 11月21日（木）～12月4日（水）	12月14日（土）	2025年 1月17日（金）	1月25日（土）または 1月26日（日）	2月6日（木）

* 第2次（最終）選考の試験日時は、本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

(1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。

(2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または卒業見込み*の者等、大学入学資格を有する者。

※（4月入学）2025年3月31日までに （9月入学）2025年9月20日までに

この方式の対策は？

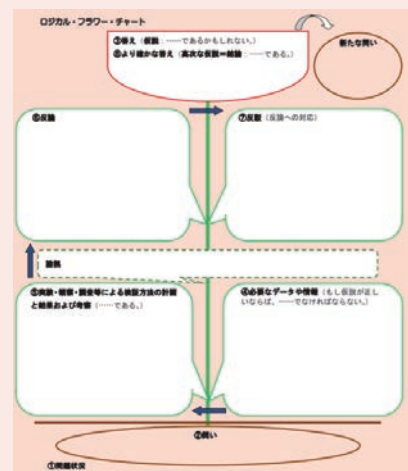
- 社会情勢にアンテナを張って、興味関心を持った事柄について疑問を持ち、自分で答えを導くことです。学校での探究活動などを
通して日常的にトレーニングすることが大切です。

ロジカル・フラワー・チャートとは？

考えるべき問題を見つけ、その問題がなぜ起きているのか（どうすれば解決できるのか）について仮説を立て、その仮説が正しいかどうか、誰もが理解できるような方法で論証・検証し、結論を導くという探究的なプロセスをモデル化したものです。そのプロセスを図式化すると、右の図のような花の形になるため、「ロジカル・フラワー・チャート」と呼ばれます。「ロジカル・フラワー・チャート」を活用して探究的な学びの基礎を身につけ、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。



解答のポイント

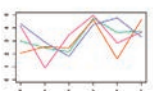


具体的にはどんな試験？

皆さんが高校で取り組まれている「探究学習」のように、自分で「問い」を立て、その問いに対する答えを導き出すためには、どのようなデータを集めたり調査をしたりする必要があるかということについて答える試験です。

1 「問い」を立てる

最初に複数の資料（下記のように文章や図表、写真等を提示しますが、試験回により資料数や種類は変わります）を関連付けて、自分なりの「問い」を立てます。

資料① 	資料② 	資料③ 	資料④ 	資料⑤
--	--	--	--	---

2 「問い」の社会的意義を考える

上記で設定した「問い」の答えを導き出すことが、どのように社会に役に立つと思われるのか、また社会的にどのような価値があるのかを考えてください。

3 「問い」に対する自分なりの答えを考える

設定した「問い」に対して、自分なりの答えを記述してください。

4 どのようなデータを集めたり調査をしたりする必要があるかを考える

あなたの答えを証明するために、どのようなデータや調査結果が必要であることを具体的に記述してください。またそのようなデータや調査結果を得るためには、具体的にどのような実験や調査を行う必要があるかを記述してください。

2025年
4月入学2025年
9月入学

総合型選抜

活動アピール方式

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を
受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 中学校卒業以降、自身が熱心に打ち込まれた活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 中学校卒業以降、海外留学等の国際経験、語学、探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、
様々な分野で高い活動実績や優れた活動を行われた方
- 意欲的な取り組みにより培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の
論理性・説得力
- 言語能力の水準
- 探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなどの分野における活動成果
- 海外での学修成果 ● 取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考 合格者

■第2次(最終)選考

ライブ面接／個人(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で
行います。



評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境や
リソースを積極的に活用し、学び
成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

入学時期	募集 区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考	第2次(最終)選考	合格発表日
			結果通知日	試験日*	
2025年4月 2025年9月	第1回	2024年 9月2日(月)～9月17日(火)	10月4日(金)	10月12日(土)または 10月13日(日)	11月1日(金)
	第2回	2024年 10月18日(金)～11月5日(火)	11月22日(金)	11月30日(土)または 12月1日(日)	12月12日(木)
	第3回	2024年 12月2日(月)～12月16日(月)	2025年 1月17日(金)	1月25日(土)または 1月26日(日)	2月6日(木)
2025年9月	第4回	2025年 3月7日(金)～3月21日(金)	4月18日(金)	4月26日(土)	5月8日(木)

* 第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)～(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または卒業見込み*の者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 中学校卒業以降、P16 表1①～⑧のいずれかまたは複数の優れた活動に取り組まれた方。

※(4月入学)2025年3月31日までに (9月入学)2025年9月20日までに

[英語基準出願者のみ]

(4) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

- ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や
英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

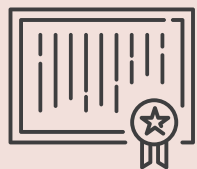
TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P4へ

この方式の対策は?

- 3ヵ月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 学校または自主的に取り組んだ探究活動を研究会等で発表した経験があればアピールしましょう。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

【活動の証明について】

下記の活動については、必ずしも優勝や入賞等の実績を必須とはしませんが、活動の証明は、**活動内容がわかること**、**志願者本人が特定されること**、**年月日が証明されることが必要**です。証明は、活動した機関等が発行した証明書あるいは、第三者が客観的に証明するものであることに留意ください。証明書の書式の指定はありません。なお、本学が実施するUNITE Programの修了については、証明書等の提出の必要はありません。個別の活動の証明書について、実績または証明として成立するかどうか大学にお問い合わせいただいても回答できません。志願者自身で判断して提出してください。



活動内容が
わかること



志願者本人が
特定されること



年月日が
証明されること

表1 提出された活動は3つまで評価します。なお、これらの活動は目安となります。
下表の活動以外でもアピールすることが可能です。

分 野	本学が入学者に求める活動実績・成果の水準（目安）																		
① 海外留学等の国際経験	●3ヵ月以上の海外留学や留学先での学業経験 ●インターナショナルスクール等外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき、通算3ヵ月以上の学業経験 ●国際バカロレア (IB)のディプロマを取得または取得見込み																		
② 語 学*	【英語】 次の基準を満たすこと* <table><tr><th>TOEFL iBT*</th><th>IELTS</th><th>TOEIC® (L&R/S&W)</th><th>実用英語 技能検定</th><th>TEAP</th><th>TEAP CBT</th><th>GTEC</th><th>ケンブリッジ 英検</th><th>PTE Academic</th></tr><tr><td>42</td><td>4.5</td><td>1150</td><td>1980</td><td>225</td><td>420</td><td>960</td><td>140</td><td>42</td></tr></table> ●【中国語】 中国語検定4級、実用中国語技能検定4級、HSK2級 ●【韓国語】 韓国語能力検定2級、「ハングル」能力検定4級 ●【スペイン語】 スペイン語技能検定4級 【上記以外の言語】 検定試験等の資格取得またはスピーチコンテスト等への出場	TOEFL iBT*	IELTS	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語 技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ 英検	PTE Academic	42	4.5	1150	1980	225	420	960	140	42
TOEFL iBT*	IELTS	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語 技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ 英検	PTE Academic											
42	4.5	1150	1980	225	420	960	140	42											
③ 探 究	学校もしくはその他の機関または自主的に探究学習を進め、探究・自由研究の成果をまとめたうえで、コンテストまたは研究会等で発表したこと																		
④ 学 業	UNITE Program(学部指定単元AI学習プログラム)において本学が指定する単元を期間内に修了したこと ※UNITE Programの受講は、別途所定の期限内に申請が必要です。詳細は、受験生サイトAPUmateをご確認ください																		
⑤ 文化・芸術 ス ポ ー ツ	活動分野、種目問わず、熱心に文化・芸術・スポーツの活動に打ち込み、試合、コンクール、コンテスト等でその成果を発揮したこと																		
⑥ 生 徒 会	●生徒会（会長・副会長等執行部）の活動																		
⑦ 自 主 活 動 ボランティア 外部コンテスト等	●社会的に評価を得た（新聞に掲載された等）その他社会的な活動（ボランティア等） ●高校生を対象とする弁論・スピーチ、ビジネスプラン、課題学習等各種コンテストへの出場 ●起業経験において活動実績がある																		
⑧ 各種資格等	●基本情報技術者試験合格、日商簿記2級以上、日商珠算能力検定1級、ニュース時事能力検定1級																		

*語学能力に関する試験結果は、証明書に記載された受験日が2022年10月1日以降のものを有効とします。

*TOEFL iBT® Test は、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Date Scores に加え、MyBest™ Scores での出願も可能です。

*IELTS について、ワンスキルリタイク (IELTS One Skill Retake) も受け付けます。

*TOEIC® (L&R/S&W) については、TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

*実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき評価します。

*GTEC は、オフィシャルスコアに限りません。

*ケンブリッジ英検はリンガスキルも含まれます。

帰国生徒(海外就学経験者)選抜

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金併願
可詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部・学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 日本国外において正規の教育制度に基づく学校で2年以上の教育を受けた方
- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■ 1段階選考

出願期間内に提出

出願期間終了後、大学が指定する期間内に提出

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

録画面接

出願期間終了後、翌日（休日・祝日を除く）に大学から出願時に登録されたメールアドレスへ実施案内を送付します。提出期間は約10日間です。
※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



評価のポイント

〈出願書類〉

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

〈録画面接〉

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間
合格発表日

入学時期	募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	合格発表日
2025年4月 2025年9月	第1回	2024年9月17日(火)～10月1日(火)	11月1日(金)
	第2回	2024年12月12日(木)～12月23日(月)	2025年1月30日(木)
2025年9月	第3回	2025年3月7日(金)～3月21日(金)	5月8日(木)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)～(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または卒業または卒業見込み*の者等、
大学入学資格を有する者。

*〔4月入学〕2025年3月31日までに 〔9月入学〕2025年9月20日までに

- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で〔4月入学〕2025年3月31日まで〔9月入学〕2025年9月20日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア

P4へ

② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

この方式の対策は？

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。

国際バカロレア (IB) 選抜

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程における活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 国際バカロレアのディプロマ (IB Diploma) の取得者または入学までに取得見込みの方
- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程を通じて培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■ 1 段階選考

出願期間内に提出

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



出願期間終了後、大学が指定する期間内に提出

録画面接

出願期間終了後、翌日（休日・祝日を除く）に大学から出願時に登録されたメールアドレスへ実施案内を送付します。提出期間は約10日間です。
※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



評価のポイント

〈出願書類〉

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 英語運用能力
- 課題論文 (EE : Extended Essay) の内容
- IB Predicted Grades など

〈録画面接〉

- 課題論文 (EE : Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 合格発表日

入学時期	募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	合格発表日
2025年4月 2025年9月	第1回	2024年12月12日(木)～12月23日(月)	2025年1月30日(木)
2025年9月	第2回	2025年3月7日(金)～3月21日(金)	5月8日(木)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)～(2)のすべてに該当する者。また英語基準出願者は(3)も満たすこと

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または取得する見込み*の者。

※(4月入学) 2025年3月31日までに (9月入学) 2025年9月20日までに

【英語基準出願者のみ】

- (3) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

- ① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。
- ② TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。 **TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア 目安 P4へ**
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

4月入学は2025年3月31日までに、9月入学は9月20日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学を許可しません。

この方式の対策は？

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得性をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学修経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

一般選抜 INFORMATION

2025年3月31日までに大学入学資格を持つ方を対象に一般選抜を実施します。
出願資格の詳細については2025年度一般選抜の「入学試験要項」で確認してください。

1 英語基準入学について



これまで、一般選抜では英語基準入学を選択できませんでしたが、右の基準を満たす場合に、**英語基準での入学**の選択を可能とします。一般選抜における筆記試験はこれまで同様日本語でのみ実施します。

◆英語基準出願に必要な英語外部資格の得点

TOEFL iBT®	IELTS	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
75	6.0	1600	2304	318	630	1215	169	50

⇒ 英語基準についてはP8をご覧ください。

2 入試スケジュール

2025年度は**31試験地**で実施。立命館大学と同じ試験問題です。

◆共通テスト方式[全学部共通]

		2月入試		3月入試	
教科・科目型		[7科目型] [5科目型] [3教科型]	[後期型(5科目型・4科目型・3教科型)]	共通テスト + 面接	
出願期間	インターネット*	2025年 1月6日(月)～1月17日(金)	2025年 2月12日(水)～3月1日(土)	2025年 2月12日(水)～2月26日(水)	
合格発表日		2月17日(月)	3月18日(火)	3月18日(火)	

◆本学独自試験[全学部共通]

試験日	2月入試							3月入試
	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	7日(金)
入試方式	前期	前期	前期	前期	英語重視	共通テスト併用	共通テスト併用	後期
試験地	埼玉(大宮)・東京・横浜・金沢・名古屋・滋賀(草津)・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡・大分							
	札幌・仙台・松本・千葉(柏)・静岡・浜松・福井・三重・姫路 和歌山・岡山・松江・山口・松山・北九州・熊本・鹿児島				千葉(柏)・静岡・浜松・三重・岡山			
インターネット出願期間*	2025年 1月6日(月)～1月22日(水)				2025年 1月6日(月)～1月26日(日)			2025年 2月12日(水)～2月26日(水)
合格発表日	2月17日(月)				2月20日(木)			3月18日(火)

※調査書等の出願書類は、別途郵送が必要となります(出願期間最終日の消印有効)。

3 (一般選抜全方式) 英語外部資格スコアの得点を活用

英語外部資格試験の得点を英語の得点に換算し、英語試験の点数のいずれか高得点を採用します

本学独自試験の「英語」科目または大学入学共通テストの「外国語」の得点として採用します。

100%、90%、75%、60%の換算得点率に基づき計算をします。共通テスト併用方式は共通テストの外国語得点に換算し、共通テストの点数といずれか高得点を採用します。

出願時 証明するコピーを提出

一般選抜を受験

英語外部資格のスコア

どちらか
高得点を
採用!

本学独自試験(英語)

OR

大学入学共通テスト(外国語)

英語外部試験 得点換算表

	英語科目の換算得点率			
	100%	90%	75%	60%
TOEFL iBT® Test	83	70	55	42
IELTS(Academic Module)	6.5	6.0	5.0	4.5
TOEIC® L&R/S&W Test	1700	1600	1340	1150
実用英語技能検定	2450	2304	2142	1980
TEAP	342	318	267	225
TEAP CBT	698	600	508	420
GTEC4技能(Official Score Certificateのみ)	1280	1215	1080	960
ケンブリッジ英検	175	169	150	140
PTE Academic	72	60	50	42

※英語外部試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2022年10月1日以降のものを有効とします。
※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。
※IELTSについて、ワンスキルリタイク(IELTS One Skill Retake)も受け付けます。
※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして換算したスコアを示します。
※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含みます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。
※GTECは、オフィシャルスコアに限りません。
※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含みます。
＜詳細については、入学試験要項で確認してください。＞

4 学部・方式の併願

※入学検定料についてはP.32をご覧ください。

2月
入試

- ✓ 選考チャンスが最大16回
- ✓ 試験日が異なれば、異なる学部、立命館大学とも併願が可能
- ✓ 共通テスト方式は学部間の併願もOK

● 本学独自試験・英語重視方式・共通テスト併用方式

■ 同一学部：方式・試験日の異なる併願

【例】国際経営学部 (APM) の場合：最大 7 回の受験が可能

国際経営学部	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月7日	2月8日	2月9日
	前期方式	前期方式	前期方式	前期方式	英語重視方式	共通テスト併用方式	共通テスト併用方式

最大7回
受験可能

■ 異なる学部：方式・試験日の異なる併願

【例】サステナビリティ観光学部 (ST) とアジア太平洋学部 (APS) を併願する場合：最大 7 回の受験が可能

サステナビリティ観光学部	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月7日	2月8日	2月9日
	前期方式	前期方式	前期方式	前期方式	英語重視方式	共通テスト併用方式	共通テスト併用方式
アジア太平洋学部	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月7日	2月8日	2月9日
	前期方式	前期方式	前期方式	前期方式	英語重視方式	共通テスト併用方式	共通テスト併用方式

最大7回
受験可能

● 共通テスト方式

■ 同一学部の併願

【例】国際経営学部 (APM) の場合：最大 3 回の受験が可能

国際経営学部	7科目型	5科目型	3教科型
--------	------	------	------

最大3回
受験可能

■ 異なる学部の併願

【例】国際経営学部 (APM) ・ サステナビリティ観光学部 (ST) ・ アジア太平洋学部 (APS) を併願する場合：最大 9 回の受験が可能

国際経営学部	7科目型	5科目型	3教科型
サステナビリティ観光学部	7科目型	5科目型	3教科型
アジア太平洋学部	7科目型	5科目型	3教科型

最大9回
受験可能

● 本学独自試験+共通テスト方式

■ 2月実施入試の併願

国際経営学部							国際経営学部	7科目型	5科目型	3教科型
2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月7日	2月8日	2月9日				
前期方式	前期方式	前期方式	前期方式	英語重視方式	共通テスト併用方式	共通テスト併用方式	サステナビリティ観光学部	7科目型	5科目型	3教科型
							アジア太平洋学部	7科目型	5科目型	3教科型

最大16回
受験可能

3月
入試

- ✓ 後期方式では1受験で複数学部の併願OK
- ✓ 後期方式と共通テスト+面接方式の併願OK
- ✓ 共通テスト方式は学部間の併願もOK

● 「後期方式」3学部併願可能

3月7日

国際経営学部	後期方式
サステナビリティ観光学部	後期方式
アジア太平洋学部	後期方式

● 「共通テスト方式」

最大9回受験可能

国際経営学部	5科目型	4科目型	3教科型
サステナビリティ観光学部	5科目型	4科目型	3教科型
アジア太平洋学部	5科目型	4科目型	3教科型

● 「共通テスト+面接方式」

1学部を選択

国際経営学部 or サステナビリティ観光学部 or アジア太平洋学部	共通テスト+面接
--	----------

最大13回
受験可能

5 本学独自試験について

● 出題範囲

2025年度一般選抜における本学独自試験の出題範囲は、以下のとおりです。2025年度一般選抜の本学独自試験においては、教科「情報」は課しません。

前期方式、英語重視方式

試験教科	試験科目	出題範囲
		2025年度入試
外国語	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
国語	国語	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、古典探究※1
地理歴史	世界史	世界史探究
	日本史	日本史探究
	地理	地理総合、地理探究
公民	政治・経済	政治・経済
数学	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B (数列)、数学C (ベクトル)

[前期方式]
解答時に
いずれか
1科目選択

※1：漢文の独立問題は出題しません。

共通テスト併用方式、後期方式

試験教科	試験科目	出題範囲
		2025年度入試
外国語	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
国語	国語	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語 (いずれも近代以降の文章)

本学独自試験「選択科目」の解答科目選択方法

本学独自試験の「選択科目」(公民、地理歴史、数学)は、選択解答する科目を出願時に届け出る必要はありません。試験開始時にその中から解答科目を選択することができます。

合否判定について

- 合否判定は各入試方式において定められた試験科目の合計点で行います。
- 複数回受験した場合、それぞれの受験について合否を判定します。

得点調整について

試験日や解答科目による問題難易度の差によって生じる不公平を是正するため、本学独自試験において以下の得点調整を行うことがあります。

- 同一方式の試験を複数の試験日で実施する場合は、科目ごとに試験日間の得点調整を行うことがあります。
 - 「選択科目（公民、地理歴史、数学）」については、それぞれ科目間の得点調整を行うことがあります。
 - いずれも、試験日や科目ごとの平均点および標準偏差の差を補正することができる統計的方式にもとづいて、個々の受験生の得点を調整します。
- ※得点調整に関する問い合わせには応じられません。

6 共通テストの科目の取り扱い

※過年度の成績は使用できません。

「令和7年度大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）で受験した科目の成績を、共通テスト方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する入試方式において定められた共通テストの科目を必要数受験してください。科目が不足する場合は合否判定の対象外となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、各入試方式において定められた共通テストの科目を受験していれば高得点の科目から自動的に採用されます。それぞれの入試方式で定められた科目の配点と共通テストでの配点異なる場合は得点換算を実施します。

■外国語

共通テストの「英語」は、【リーディング】（100点）と【リスニング】（100点）が出題されます。本学の入学試験では、下記（1）（2）のように取り扱います。

- （1）【リーディング】100点満点を140点満点に、【リスニング】100点満点を60点満点に換算した合計で200点満点として取り扱います。
 - （2）各入試方式では、上記（1）により換算された得点を、当該の入試方式の配点に換算します。
- また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」もすべての学部で使用できます。

■国語

共通テストの「国語」は、近代以降の文章（3問110点）、古典【古文（1問45点）、漢文（1問45点）】で構成されています。本学の入学試験では、下記（1）（2）のうち高得点となる方を自動的に採用し、各方式の点数に換算します。なお、（1）（2）の採用について事前申請等は不要です。

- （1）「近代以降の文章」と「古文」を合わせた155点満点を200点満点に換算。
- （2）「近代以降の文章」「古文」「漢文」のすべてをあわせた得点で200点満点。

■数学

共通テストの「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学Ⅰ、数学Ⅱ」、数学②は「数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ」の得点を使用します。使用できる科目および使用方法是各入試方式のページで確認してください。主な使用方法是以下の通りです。

- （1）「数学Ⅰ、数学Ⅱ」「数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。
- （2）「数学Ⅰ、数学Ⅱ」「数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■地理歴史・公民

共通テストの「地理歴史・公民」は1科目または2科目を選択して受験できます。本学の入学試験では、「地理総合／歴史総合／公共」「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」と「公共、政治・経済」「公共、倫理」の得点を使用します。なお、公民科目の得点は下記のように使用します。〈「公共、倫理」「公共、政治・経済」から高得点1科目〉
各科目の選択のルールは大学入試センターホームページ等で確認してください。

■理科

共通テストの「理科」は、以下科目のうちから最大2科目を選択して受験できます。
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」
「物理」「化学」「生物」「地学」
各科目の選択ルールは大学入試センターホームページ等で確認してください。

前期方式[スタンダード3教科型] 【本学独自試験】

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「3教科で総合的に評価する」APUのスタンダード入試

3教科の合計点で合否判定を行う方式。試験日が異なれば複数回の受験もできます。試験日・学部を問わず、出題形式・問題傾向は同じです。

英語^{【注1】}
(120点)
80分

+

国語[※]
(100点)
80分

+

選択科目
(公民・地歴・数学)
(100点)
80分

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくは、P.19をご覧ください。
※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

英語重視方式 【本学独自試験】

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「前期方式と同一の出題形式で英語力が活かせる」方式

英語・国語・選択科目の3教科を受験し、「英語の得点」＋「国語または選択科目の高得点」の2教科で判定します。

英語^{【注1】}
(150点)
80分

+

国語[※]
(100点)
80分

または

選択科目
(公民・地歴・数学)
(100点)
80分

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくは、P.19をご覧ください。
※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

共通テスト併用方式 【本学独自試験】

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「英語と国語（現代文）の本学独自試験に、大学入学共通テストの高得点を加えた合計点」で判定

大学入学共通テスト後に出席できるため高得点科目が活かせます。

大学入学共通テストの教科・科目			本学独自試験科目		
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択【注1】	全科目のうち 高得点1科目を採用	+	英 語	国 語 (現代文のみ)
国 語	「国語」				
数 学	「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」				
公 民	「公共,倫理」「公共,政治,経済」				
地 歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合,地理探究」				
理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
情 報	「情報I」				
〈100点〉				〈100点〉 80分	〈100点〉 80分

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくは、P.19をご覧ください。
※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.21をご覧ください。

前期方式・英語重視方式・共通テスト併用方式対策のポイント

- 本学の一般選抜は高校で学んだ基礎学力を求めるものです。これまでの学びを復習して基礎をしっかりと固めましょう。
- 過去問題に馴染み、解答の順番や時間配分を考えておくことも有効でしょう。
- 詳細な出願方針と学習のポイントはP.26～29をご覧ください。

共通テスト方式

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否を判定する」方式

高得点の教科・科目が活かれます。選択科目は高得点科目を自動的に採用します。

7科目型	大学入学共通テストの教科・科目		配点	
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択	200点	
	国 語	「国語」	200点	
	数 学	「数学I,数学A」	100点	
	数 学	「数学Ⅱ,数学B,数学C」	高得点 4科目を採用	4科目で 400点 (各100点)
	公 民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」から高得点1科目		
	地 歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合,地理探究」		
	理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」		
	情 報	「情報Ⅰ」		

5科目型	大学入学共通テストの教科・科目		配点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択	【注1】 200点
	国 語	「国語」	200点
	数 学	「数学I,数学A」	200点
	数 学	「数学Ⅱ,数学B,数学C」	高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公 民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」から高得点1科目	
	地 歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合,地理探究」	
	理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
	情 報	「情報Ⅰ」	

3教科型	大学入学共通テストの教科・科目		配点			
			アジア 太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ 観光学部	
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 【注1】	200点	150点	200点	
	国 語	「国語」	150点	150点	150点	
	数 学	「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」	高得点 1科目を採用	150点	200点	150点
	公 民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」				
	地 歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」 「地理総合,地理探究」				
	理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
情 報	「情報I」					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくはP.19をご覧ください。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.21をご覧ください。

共通テスト方式の併願

各科目、教科型の併願はもちろん、複数学部の併願もできます。

また、併願時の入学検定料は1出願目が18,000円、2併願目以降が各10,000円となります。(出願期間が同一の場合)。

後期方式【本学独自試験】

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「英語＋国語(現代文)の2教科」で実施

2月実施の入試結果を確認した後でも出願できる英・国2教科で実施する方式です。

英語
(120点)
80分

+

国語
(現代文のみ)
(100点)
80分

後期方式の学部間併願

1回の受験で複数学部の併願ができます。また、併願の場合の入学検定料は2併願目以降が10,000円となります。

共通テスト＋面接方式【本学独自試験】

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「大学入学共通テストの得点＋面接により、基礎学力や意欲、適性を総合的に評価する」方式

大学入学共通テストの得点(300点)と面接の得点(100点)により、基礎的な学力に加えて志望学部への興味・関心や入学後の学修意欲等を総合的に評価します。

大学入学共通テストの教科・科目			配点	+	本学独自試験	配点
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択【注1】		100点		録画面接	100点
国語	「国語」		100点			
数学	「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」		高得点 1科目 を採用 1科目で 100点			
公民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」					
地歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」 「地理総合,地理探究」					
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
情報	「情報I」					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくはP.19をご覧ください。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.21をご覧ください。

⚠ 面接試験評価のポイント ●志望学部への興味・関心 ●入学後の学修計画の具体性 ●入学後の学修・正課外活動を含む学生生活全般への意欲等

共通テスト方式(後期型)

日本語
基準英語
基準優秀者
奨学金英資格
活用併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否判定する」方式

3学部を併願できます。

5科目型	大学入学共通テストの教科・科目		配点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 [注1]	200点
	国語	「国語」	200点
	数学	「数学I, 数学A」	200点
	数学	「数学II, 数学B, 数学C」	高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公民	「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」から高得点1科目	
	地歴	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
	情報	「情報I」	

4科目型	大学入学共通テストの教科・科目			配点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択		200点
	国語	「国語」		200点
	数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から高得点1科目		高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合,地理探究」		
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」		
	情報	「情報Ⅰ」		

3教科型	大学入学共通テストの教科・科目		配点				
			アジア 太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ 観光学部		
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択	【注1】	200点	150点	200点	
	国 語	「国語」		150点	150点	150点	
	数 学	「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」		高得点 1科目を採用	150点	200点	150点
	公 民	「公共,倫理」「公共,政治・経済」					
	地 歴	「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」 「地理総合,地理探究」					
	理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
情 報	「情報I」						

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、英語資格活用の対象となります。詳しくはP.19をご覧ください。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.21をご覧ください。

過年度の一般選抜試験問題を立命館アジア太平洋大学の受験生サイトで公開しています。

受験生サイトAPUmate

<https://www.apumate.net/>



英語 全方式共通

(出題内容・形式・配点)

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 長文総合問題	マーク	29	80分
II 長文総合問題	マーク	31	
III 会話文	マーク	24	
IV 文法・慣用句	マーク	16	
V 語句選択英文完成	マーク	20	
合 計		120	

*合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【各設問の方針と内容】(全日程共通)

I 750~850 語程度の英文をもとにした、大意把握と内容理解の力を試す問題である。[1] は、英文の意味・内容に関する問いが英語で提示され、[2] は、与えられた5つの文が英文の内容と一致するか否か、あるいは英文の内容からだけでは判断できないかを問う、より正確な内容理解を試す問題である。[3] は、英文を総合的に理解しているか(主旨の理解ができているか)を問う。

II 750~850 語程度の英文の内容理解を試す問題で、細部の正確な理解が要求される。[1] は文中の空所に当てはまる語(句)を選ぶ問題である。空所の直前・直後だけでなく、英文全体の話の流れを正確に把握する必要がある。[2] は英文の中の代名詞などの語(句)が、何を指しているか、何を意味しているかを、選ぶ問題である。何かを指示する語(句)が具体的に何を意味しているのかを意識的に考えながら読むことによって正確な理解ができているかを試す。

III 二人の対話文をもとにした問題である。対話の中の空所を埋めるのもっとも適当な表現を選択肢から選ぶ形式である。さまざまな場面で、話の流れを正確に掴みながら話し手の意向や気持ちなどを理解することができるか、また、適切な表現で応答し必要な情報を伝えることができるかを試す。人との関係を円滑にする(挨拶や呼び掛けなど)、相手の行動を促すなど、いろいろな言語の働きをする英語表現に親しんでおくことが必要である。

【出題の基本方針】

本学の諸学部において教育を受けるにふさわしい、基本的な英語力を備えた受験者を選抜するために、高等学校卒業段階で到達すべき英語力を公正に測定できる内容で出題することを基本方針とした。

IV 文法事項に関する問題である。空所を埋めることによって英文を完成させる問題である。基本的なものを中心に、動詞、副詞、形容詞、接続詞、前置詞など様々な品詞に関して、適切な英語で表現する力を試す。

V 語彙に関する問題である。[1] は英文の空所を埋めるのもっとも適当な単語を選ぶ形式で、文脈から語を導き出す問題であり、[2] は、文中の下線部と同じ意味の語を選択する同義語の問題である。教科書に出てくるような基本的語彙をはじめ、自立した英語使用者に必要な語彙を幅広く身につけておくことが期待される。単に単語の意味を知っているのではなく、その単語が英文の中でどのように使われるか、連語関係などにも注意を払いながら学習しているかが試される。さらに、その単語を他の単語で置き換えることができるかどうか試されている。一つの単語に対する一段と深い理解が必要となる。

学習のポイント

- 文章全体の構成に注意を払いながら、論理の流れを理解すること。文章の大意を取ることができたら、今度は一つ一つのパラグラフが何を言っているのかをキーワードなどを使って短い語句で示し、掴みながら、次のパラグラフに進んでいく。そうすれば、細かい部分も正確に把握できるし、論理的な流れも正確に掴めるはずである。英文を効率よく、正確に読むためには、日頃から精読と多読をバランスよく行うことが大切である。文章を要約する練習も効果的だろう。
- 会話文や慣用的な表現には、普段からインターネット上にある会話ビデオや映画などを活用して、楽しみながら親しもう。面白い表現などをノートに取って見直すのも役に立つだろう。1週間や1ヶ月毎に最初から見直し、実際に口に出して言うことも大切である。同じ状況に遭遇すれば、自然に言葉が出てくるだろう。
- 語彙は言語習得の基礎中の基礎である。CDやDVD のついている単語集やインターネット上にある単語学習プログラムなどから気に入ったものを選び、耳で聞き、同時に口ずさみ、目で確認し、意味を考えながら書くなど、すべての感覚を使って覚えると効果的である。そうすれば、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの力を総合的に伸ばすことにもつながる。文脈の中で覚えることも大切である。文章や会話の中で単語がどのように使われているのかを意識しながら覚えていこう。

国 語

前期方式・英語重視方式

〈出題内容・形式・配点〉

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
合 計		100	

*合計点が各学部および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

把握へとつながるように、問いの順番を考慮して出題している。古文も文章全体の主旨を正確に理解できるかどうか、受験生の読解力を問う問題を中心に、読解の前提である文法や語彙などの基礎知識の習得がなされていることを確認するための問いも出題している。

【出題の基本方針】

高等学校の学習を基礎とし、難解な文章を避けつつ、大学入学後の学習に必要なレベルの文章読解力の有無が判断できるような問題文を選び、出題する。現代文・古文とも、文章全体の的確な理解、その前提となる基礎的な語彙力や文法の理解を問うものを、現代文では、高等学校までの学習による基本的な知識を前提として、語彙力や読解力を問うことを目的としている。文章全体の流れの中で文章の読解が進み、主題の

学習のポイント

まず、文章全体の大意を把握し、そのうえで、文章がどのように構成されていて、個々の文章や語句がどのように位置づけられているかを理解できるよう心がけること。

- 現代文では、特に評論文で使われる概念や比喩的な表現の理解が必要となる。普段から評論文を読み、頻出概念や比喩的な言い回しに慣れておくこと。ある程度の長さの評論文を短時間で理解する訓練をすること。
- 文学的な文章では、人物の心情の読み取りが必要になってくることがあるが、その根拠となる表現を文章中から見つけるよう心がけてほしい。
- 問題文では筆者独自の表現や考えが展開されることもある。先入見にとらわれず、文章中のキーワードを把握し、文章が示しているものを的確に理解することを心がけてほしい。
- 繰り返しや、言い換えなどで強調されている部分は、作者が主張したい内容であることが多い。文章の主旨を理解する際、注目しておきたい。
- 接続詞の使い方や意味を的確に理解し、文脈の流れや文章の構造を捉えることができるようにすること。
- 語彙・句法・表現技法・四字熟語等については、普段から評論文に親しみ、自分にとっての初見の語句があれば、辞書を活用し、調べる習慣を身につけたい。
- 漢字は、文脈の流れの中で理解できるようにしておくこと。同音異義語にも注意しておくこと。また、漢字の書き取りは、書き順を理解したうえで、丁寧に正確に書く練習をしてほしい。
- 文学史については、単なる作者や作品名の暗記ではなく、文学史の流れの中に位置づけ、また描かれたテーマとともに記憶しておくこと。
- 古文は、基礎的な語彙や基本的な文法の知識をしっかりと身につけ、それをふまえて正確に読み取ることができるよう学習しておくこと。また、正確な現代語訳ができるよう訓練をしておくこと。
- 古文の文章の流れを理解するうえで、動作の主体が誰かを把握することは不可欠である。日頃から、敬語表現にも留意し動作主体を必ず補いながら読むなどの丁寧な読解を心がけておくこと。
- 古文には和歌を含む作品もあるため、和歌の技法・形式についても理解しておくこと。文学史的な知識も学習すること。

国 語

共通テスト併用方式・後期方式

〈出題内容・形式・配点〉

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マーク	50	80分
二 現代文	マーク	50	
合 計		100	

【出題の基本方針】

大学の「学び」において求められる日本語力の基準をふまえ、現代社会の諸事象や言語・文化・思想・歴史をテーマとした論理性・批評性のある文章を選び、文章を論理的に読解できる力があるかどうかを問うことに重点を置いた。

学習のポイント

- 論理的な文章を読解するためには、まずは、文脈の中で語句の意味を理解し覚えること、また、論理的に思考するためのツールとして概念語(抽象語)が使いこなせること、さらには文章の構造を大局的・俯瞰的に把握でき、筆者の思考や論理の道筋を正確にたどれることが必要である。
- 様々な話題に興味・関心を持ち、教養書や新聞の社説・文化欄なども意欲的に読み、幅広い読書を通して、精密で批判的な思考を可能にする豊かな概念と語彙を養ってほしい。また、偏りのない判断や批判的思考が可能となるよう、ことばを自覚的に運用できる力を身につけることも心がけてほしい。

選択科目

政治・経済

〈出題内容・形式・配点〉

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 日本国憲法の基本原理(基本的人権の保障)	記述	35	80分
II 福祉社会と日本経済の課題(公害と環境保全)	記述	35	
III 民主政治の基本原理(現代の民主政治・世界のおもな政治体制)	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

基本的な出題形式は大問3つ、内訳は政治2問+経済1問、または、政治1問+経済2問の組み合わせである。もともと、政治と経済は密接な関係にあることから、政治と経済の複合的な大問となる場合もある。

学習のポイント

- 基本的な出題範囲は、教科書、資料集、ならびに用語集である。教科書は複数の出版社から刊行されており、ある教科書にある記述が、別の教科書には無い場合もある。また、ある記述が1社の教科書のみの場合もある。したがって、資料集や用語集などで補充することが必要である。
- また、各教材中の「図表」「グラフ」「年表」などについても、細部まで目を配ることが必要である。
- さらに、教科書に記述のない新しい時事問題についても、日頃からニュース等を通じて、理解し、知見を深めることが望まれる。

選択科目 日本史

〈出題内容・形式・配点〉

* 出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 原始時代における信仰・儀礼	記述	30	80分
II 平安時代の対外関係	記述	30	
III 近世から戦後に至る教育史	記述	40	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書に準拠することを大原則とし、特定の教科書のみに取り上げられた事項は極力避けることを心がけ、原始・古代～近現代の全時代・全分野をカバーする出題を、5セット総体として企画することを基本方針とする。歴史用語の単純な暗記に終始することなく、時代観や歴史像をイメージさせる出題を心がける。

学習のポイント

- まずは、教科書の本文を中心に、混乱することなく、各時代と分野の歴史の展開を把握し、時代観・年代観を養うことが肝要である。
- 漠然と、古代の、近代の、といった括りでなく、原始は先史・縄文各期・弥生各期・古墳時代各期の特性を体系的に把握し、古代～近世、19世紀前半までの時代は、世紀ごとの把握が、また1850年代の幕末・明治維新时期以降は、1860年代、70年代といった、10年ごとの展開の把握が重要となる。言うまでもなく、こうした学習を効率的に進めるには、年表の活用が必須である。市販のものを利用するのもよいが、自身でオリジナルな年表をノートに作成し、徐々に内容を充実させて、折に触れ目にするように心がければ、自ずから時代観・年代観が養成されることになる。また、年次を伴わない、各時代の代表的な文化財等については、該当する年表の箇所に、表にまとめておくのが効果的である。
- また、正確な年次と歴史用語の漢字表記が要求されることから、ケアレスミスを防ぐという意味合いからも、書いて覚えるよう心がける必要がある。用語集を用いた学習が広く行われているが、闇雲に暗記を重ねるだけでは、少し「捻った」問題になるとたちまち解答に混乱を来すことが懸念される。やはり、個別の項目を習得する大前提として、時代観・年代観の養成、つまり年表の中に個別の項目を位置づけていくという作業が極めて重要な意味を持つ。そうすれば、明らかに時代・年代の異なる事項を解答するような初歩的な間違いはなくなる。
- 付け加えて、教科書と用語集、年表を用いた学習のみで満足することなく、必ず史料集や図表を活用した学習をしてほしい。いずれかの設問で史料・図表・写真等が利用されることになり、この部分の出来・不出来が全体の成績を左右する傾向にある。教科書に記載されている事項は、いかなる根拠すなわち史料に記されているのか、常に意識しながら学習することが望ましい。また、用語の字面だけでなく地域・場所などの空間的な把握も必要である。なお、昨今の傾向から、同時代の海外情勢との関連を意識することはもはや当然のことと言える。

選択科目 世界史

〈出題内容・形式・配点〉

* 出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 前近代の東アジア世界	記述	20	80分
II 中国の文化大革命の影響	記述	20	
III セルジューク朝の歴史	記述	30	
IV アメリカの戦争	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題した。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身についているかを試すため、リード文の内容を正確に理解した上で解答する形での出題を心がけた。

学習のポイント

- ある歴史上の出来事について、それが発生した直接的な原因だけでなく、それが発生した歴史的背景、さらにその出来事が次の歴史展開にどのような影響を与えたのかについても良く理解しておく必要がある。歴史を流れとして理解するためには教科書を何度も読み返した上で、教科書より少し詳しい参考書を読むのがよい。
- 世界史の学習に際して、ある時代・地域の歴史展開を地理的にイメージできるようにしておくことも重要である。教科書などを読みながら図版でその地理的展開を確認するとイメージを形成しやすい。
- 世界史学習そのもののポイントではないが、受験本番で問題を解く際には問題文をしっかり読み込むこと。世界史の出題では、問題文全体の内容理解を前提として設問（空欄）を考えさせるという出題を心掛けているので、空欄の前後だけでは正答にたどり着けないことも多い。文章読解力は大学入学後に最も必要となる学力の一つでもあるので、日頃から内容をしっかりと考えながら文章を読む練習をしておくことが必要である。

選択科目 地理

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 読図(地形図)	記述	35	80分
II 地誌	記述	30	
III 系統地理	記述	35	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書・地図帳・副教材・統計資料に掲載されている諸事実を、地図ないし現実の地理に即して体系的に理解しようと努める受験生が力を発揮することのできる出題である。単に地理用語を記憶するのではなく、地表上の諸現象を知識として身につけた上で、それらを相互に関係づけて理解しているかどうかを問うている。教科書を基本とすることは当然であるが、現代世界の状況にも関心を持ち、それらを地理的な事象と関連付けることのできる応用力を有しているかも積極的に問うた。

学習のポイント

- 教科書全体を熟読し、内容を適切に理解するとともに、地名・語句は正しく表記できるようにしよう。地域や地名については、地図帳を用いて位置を正しく把握すること。また、統計データやグラフ・表などの資料が掲載されている場合には、それらを読み取ることのできる理解力を養う必要がある。単なる用語の暗記にとどまらず、用語の説明や、地理的な現象の背景にある要因を説明できる思考力を身につけよう。
- 地図帳のみならず、地形図や「地理院地図」などのウェブ上の地図にも日常的に親しんでおくとい。地形図ないし「地理院地図」を用いた身近な地域の観察を通じて、地図を読み解く力は高まるはずである。
- 多様なメディアで報じられる日々のニュースには、系統地理や地誌に関わる事項が多分に含まれてる。新聞だけをとりても、世界の特定地域の地図が毎日のように掲載されているだろう。現代社会の状況にも関心をむけ、地理的な理解力を育むために努力しよう。

選択科目 文系数学

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 集合と命題、三角関数、図形と2次関数	記述	40	80分
II 数列	記述	30	
III 場合の数	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高等学校で学ぶ数学I、数学A、数学II、数学B（ベクトルと数列）の範囲における基礎的な内容の習得や知識・理解の程度を判定し、本学の文系学部で学ぶために必要な論理的思考力や直観力、表現力等を評価することを目的としている。問題は、受験生が学ぶ教科書の例題および応用問題（章末問題）を参考に行っている。特に大問IIでは読解力や数学的に考える力、大問IIIでは、思考過程を論理的に表現する力を問う問題としている。

学習のポイント

- 教科書の例題や応用問題（章末問題）を丁寧に解くことが重要である。
- 解答数の多さに惑わされず、順序だてて解答してほしい。基礎的な問いから始まっていることから、途中であきらめないで解答してほしい。
- 大問IIは、基礎的な問題として、教科書の例題や章末問題を丁寧に取り組むことで十分解答できる問題である。
- 大問IIは長文問題としていることから読解力が求められるが、学習内容を社会の現象と関連づけて理解すれば難しい問題ではない。特に数学的に考える力（思考力）、判断力を評価している。（例えば、昨年度の問題については、数列では、銀行で預金する場合の利息を計算する学び、三角関数では建物の高さを実際に計算する学び、確率では工場での作業工程で不良品が出る確率を考える学び等が挙げられる。）
- 大問IIIは、教科書の応用問題（章末問題）や問題集の中難度の問題に取り組むことによって十分解答できる。基礎的な内容から応用へと思考過程を順序だてて記述（論理的に表現）する学びをしてほしい。

2025年
4月入学2025年
9月入学

編入学試験・転入学試験

編入学試験・転入学試験

日本語
基準英語
基準詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 在籍中または、在籍していた教育課程における学びを通じて成長を遂げられた方
- これまでの活動や教育過程における学びを踏まえて、入学後の学修および正課外活動の充実に向け、適切に計画を立て意欲的に取り組む準備が整っている方

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「エッセイ」は英語で作成してください。



評価のポイント

- 編入学後・転入学後の学修への意欲
- 専門領域に対する興味・関心
- 在籍高等教育機関等での学業成績
- 言語能力の水準

など

第1次選考
合格者

■ 第2次(最終)選考

ライブ面接／個人(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



評価のポイント

- 入学後の学修および正課外を含む
学生生活全般への意欲
- 応答の的確性

など

出願期間
試験日
合格発表日

入学時期	募集区分	出願期間(最終日消印有効)	第1次選考結果通知日	第2次(最終)選考試験日*	合格発表日
2025年4月入学 2025年9月入学	第1回	2024年 10月18日(金)～11月5日(火)	11月22日(金)	11月30日(土) または12月1日(日)	12月12日(木)
2025年9月入学	第2回	2025年 3月7日(金)～3月21日(金)	4月18日(金)	4月26日(土)	5月8日(木)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

出願資格1(学修歴)および出願資格2(言語能力)の両方を満たす者。

出願資格1(学修歴)

APS:アジア太平洋学部 APM:国際経営学部 ST:サステナビリティ観光学部

	編入学	対象学部		
		APS	APM	ST
2回生	次の①②のいずれかに該当する者。 ①短期大学・高等専門学校を卒業または卒業見込み*の者。	●	●	—
3回生	②文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程を修了または修了見込み*の者。 ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。	●	●	—

	転入学	対象学部		
		APS	APM	ST
2回生	大学に1年以上在学し30単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に1年以上在学し卒業に必要な単位数の1/4を修得済であること、またはその見込み*であること。	●	●	—
3回生	大学に2年以上在学し60単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に2年以上在学し卒業に必要な単位数の1/2を修得済であること、またはその見込み*であること。	●	●	—

※(4月入学)2025年3月31日までに (9月入学)2025年9月20日までに

出願資格2(言語能力)

【日本語基準入学】

- 2回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 55点相当以上のスコアを持つ者。
- 3回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 61点相当以上のスコアを持つ者。

【英語基準入学】

- 編入学・転入学(2回生・3回生)：出願時点でTOEFL iBT® Test 85点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test の各スコアに相当する成績
P4へ

最終の成績証明書の提出がない場合は、通知した認定予定の単位数が変わる可能性があります。

総合型選抜

一般選抜

出題方針と学習のポイント

編入学・転入学試験

学費等・奨学金

入試結果データ

出願から合格発表までの流れ

総合型選抜、編入学・転入学試験

*一般選抜は、11月に発行される一般選抜入学試験要項でご確認ください。

① 受験生サイトAPUmateにアクセス

入学試験要項で出願資格や準備物を確認し、インターネット出願に進む。



出願システム

② 基本情報登録

各入試 出願開始の13時から最終日の23時59分まで登録が可能です。
「入学基準言語」「APハウス入寮希望」「国内学生優秀者育英奨学金」
「入学時期」はここでしか登録できません。

③ 入学検定料(受験料)の支払い

クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM（ペイジー）、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。

④ 必要な提出物のアップロード

必要な提出物を期日までにアップロードできない場合は出願を受け付けられません。

総合評価方式論述型・帰国生徒選抜・IB選抜 録画面接の実施

出願書類の1つとして提出締切日までに完了してください。

書類送付

国内在住

⑤ 出願書類(原本)を郵送 〈速達・簡易書留〉

国外在住

⑤ メール送信*または 出願書類(原本)を郵送 〈速達・簡易書留〉

※所属教育機関から大学への直接送信のみ受け付けます。

出願完了!

帰国生徒選抜
国際バカロレア選抜



「総合評価方式・論述型、総合評価方式・探究型、
活動アピール方式、編入学・転入学試験」

⑥ 受験

*方式によって選抜方法・回数が異なります。
受験票をインターネット出願サイトから印刷してください。

⑦ 合格発表

※結果通知日の13時からオンライン合否照会で確認できます。

国内学生入試の受験で特別な支援を必要とする方へ

本学の国内学生入試では、障がいなどの状況に応じて受験上の配慮が手配される場合があります。

受験上の配慮を希望される場合は、申請書の提出が必要です。詳細は「受験生サイトAPUmate」をご確認ください。



入学検定料／入学手続時納付金／学費／寮費

入学検定料

入学検定料は入試方式により異なります。

入試区分	入試方式		1出願あたりの入学検定料額
総合型選抜 編入学試験・転入学試験	総合評価方式・探究型・活動アピール方式、編入学試験・転入学試験		第1次選考：15,000円 第2次選考：20,000円
	総合評価方式・論述型・帰国生徒（海外就学経験者）選抜、 国際バカロレア（IB）選抜		35,000円
一般選抜	前期方式、英語重視方式、共通テスト併用方式、共通テスト＋面接方式		35,000円
	後期方式	1出願	35,000円
		2併願目以降	（上記に加えて）各10,000円
	共通テスト方式（後期型を含む）	1出願	18,000円
		2併願目以降	（上記に加えて）各10,000円

入学手続時納付金

入学手続は、オンライン入学手続サイトから入学手続情報を登録し、所定の期間内に「入学手続時納付金（第1次・第2次）」を納入するとともに、入学手続書類を提出することで完了します。入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」でお知らせします。

■入学手続時までに必要な納付金 ※1回生新入学全学部共通

入学手続時納付金 [4月入学・9月入学 共通]	
第1次入学手続時納付金	第2次入学手続時納付金
入学金	第1セメスター授業料A・ 授業料Bおよび諸会費
200,000円	690,000円

以下の入試方式で合格した方 ●後期方式 ●共通テスト＋面接方式 ●共通テスト方式後期型（5科目型・4科目型・3教科型）
第1次入学手続時納付金・第2次入学手続時納付金 および諸会費一括納入
890,000円

学費

1回生新入学 1年間の学費 (2025年度入学) *全学部共通	入学金	1回生時の授業料	=	第1セメスター		+	第2セメスター	
	¥200,000	¥1,300,000		授業料A	授業料B		授業料A	授業料B
				¥380,000	¥270,000		¥380,000	¥270,000

*入学金・授業料は改定されることがあります。

最短修業年限までの年間授業料額（見込額）				
	1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
1回生入学	¥1,300,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
2回生入学	—	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
3回生入学	—	—	¥1,500,000	¥1,500,000

最短修業年限を超えて5回生以上になった場合

●最短修業年限を超えて5回生以上になった場合の授業料は、授業料Aの半額と受講登録した単位数分の授業料（22,500円×登録単位数）の授業料を徴収します。

寮費

APハウス入寮希望者は、次の期間内に所定の寮費前納金の納入を完了し、なおかつ本学の入学手続を完了することで、APハウスの入寮が許可されます。なお、所定の期間を過ぎてからの入寮・入学手続は一切受け付けません。

① 納入期間……各入試方式の第2次入学手続時納付金納入期間 ※納入期間は、入学手続要項をご覧ください。

② 寮費前納金……234,000円（4月入学・9月入学共通）

⇒詳細は、P7および入学手続要項でご確認ください。

奨学金制度

立命館アジア太平洋大学では、本学独自の奨学金や、「日本学生支援機構奨学金」をはじめとする奨学団体や地方公共団体などの奨学金を取り扱っています。

それぞれの奨学金は、趣旨・対象・金額・募集の有無・募集時期などに相違があります。奨学金の受給を希望されるみなさんは、各種制度の内容をよく理解し、自らの学生生活の設計をしっかりと立てた上で出願してください。

最新情報はスチューデント・オフィスのホームページをご覧ください。
https://www.apu.ac.jp/studentsupport/scholarship_tuition/domestic/



(1) 本学独自の奨学金制度

入学試験合格者のうち、成績および提出書類についての評価が優秀なものに支給される奨学金

国内学生優秀者育英奨学金

対象入試：4月・9月入学 国内学生入学試験（1回生新入学）※編入学・転入学試験は対象外

採用人数：最大37名（過年度実績）

金 額：授業料の全額に相当する額

支給期間：4年間 ※ただし、セメスター（学期）ごとに継続審査あり

支給方法：授業料の納付額に充当

申請方法：入学試験の出願時に受給を希望する旨を申告すること。

採用者選考・決定：入学試験成績・英語外部資格試験スコア等を含む提出書類を総合的に審査のうえ対象者を決定し、合格発表と同時に採用者に通知。

※国内学生経済支援授業料減免（家計急変）との併給はできません。

※詳細は、入学試験要項をご確認ください。

経済支援を目的とした、入学後に申請できる奨学金

国内学生授業料減免制度

対 象：在学生のうち、所定の応募資格（世帯収入や学業成績など）を有するもの

金 額：授業料の半額に相当する額

※ただし、国が実施する高等教育の修学支援制度による授業料減免を受ける場合は、その減免額が上記金額に満たない部分について減免を行います。

支給期間：最大4年間（最短修業年限内）※ただし、1年に1回の継続審査あり

支給方法：学費請求時に奨学金の支給額を授業料と相殺

申請方法：入学後（4月・10月）に申請期間を設けます。詳細は入学後の案内をお待ちください。

APハウス入寮者に対する入学後の経済支援を目的とした奨学金（出願とは別に下記申請期間内に申請）

国内学生寮費減免制度

支援対象：2025年度国内学生入学試験（1回生新入学）を受験し、入学を許可されたAPハウス入寮者

申請資格：日本学生支援機構の給付型奨学金制度の予約採用申請を行い、「令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受けていること（貸与型のみ採用は対象外）

採用人数：60名 ※給付型奨学金受給者がすべて採用されるわけではありません。

支援内容：APハウスの月額寮費の11ヵ月分の半額を減免。秋入学の場合は11.5ヵ月分の半額を減免

申請期間：2024年12月2日（月）～2025年1月31日（金）（消印有効）※4月、9月入学共通

申請方法：受験生サイトAPUmateで公開されている申請要項を参照の上、申請を行うこと

その他の本学独自奨学金

(内容は予告なく変更される場合があります)

名 称	種 別	資 格 / 対 象	採用人数 (年間)	金 額
安藤百福名誉博士 奨 励 賞	給 付	学部3年生(5セメスター生)で次のいずれかを満たす者 ①学業成績優秀者 ②課外活動で顕著な成績を修めた者	4名以内	上限50万円
安藤百福名誉博士 栄 誉 賞	給 付	卒業予定者(8セメスター生)のうち、学業もしくは課外活動で成績優秀かつ意欲的な進路の目標を掲げている者	4名以内	上限100万円
優秀学生奨励金	給 付	所定の単位を修得し、かつ各学部、各セメスター学年において当該セメスター期の学業成績が最も優秀な者	30名程度	上限10万円
自主活動奨励金	給 付	自主的諸活動において顕著な成果を修めた個人または団体	予算の範囲内で定める	団体上限10万円 個人上限5万円
国内学生経済支援 授業料減免	給 付	主たる家計支持者の死亡、失職等で家計が急変し、学業の継続が困難となった者(入学後の急変のみ対象)	20名以内	授業料の50%減免
A P U 国内学生後援会 修学援助奨学金	給 付	国内学生経済支援授業料減免に採用された学生の内、APU国内学生後援会会員子女	20名以内	20万円

(2) 本学以外の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金については、合格者に送付する入学手続要項で申込の詳細を確認してください。

第一種奨学金

種 類	貸与型・無利子
金 額	自宅通学者 「最高月額」：54,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円から選択できます。 自宅外通学者 「最高月額」：64,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円から選択できます。
出願資格	学力基準：高等学校最終2か年の成績(評定平均値)が3.5以上(高等学校卒業程度認定試験に合格し、上記に準じると認められる者を含む) 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・「最高月額」受給対象者：年収826万円以内／「最高月額」以外受給対象者：年収880万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・「最高月額」受給対象者：年収566万円以内 「最高月額」以外受給対象者：年収613万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。

第二種奨学金

種 類	貸与型・有利子(在学期間中は無利子、貸与利率は上限3%)
金 額	(月額)20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択できます。
出願資格	学力基準：本学入学により学力基準を満たします。 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・年収1,309万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・年収937万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。受給の開始は申込完了後、最速2ヵ月後。

※緊急採用・応急採用奨学金：家計が急変した学生を対象に、随時出願を受け付ける制度があります。

※日本学生支援機構奨学金の2回生以降における募集は、毎年別途実施します。

給付型奨学金の申込方法や受給条件は日本学生支援機構のホームページで確認してください。

民間奨学財団奨学金(貸与または給付)／地方公共団体奨学金(貸与または給付)

- 奨学財団、地方公共団体によって内容が異なります。
- これらの団体の募集要項はAPUに募集依頼があり次第、スチューデント・オフィスのホームページに掲載します。
- 地方公共団体奨学金については、地方公共団体(都道府県など)の教育委員会へ直接問い合わせることをお勧めします。

入試結果データ

総合型選抜結果 [2024年4月入学]

■総合評価方式・探究型～ロジカル・フラワー・チャート型～

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	22	15	11
国際経営学部	18	12	5
サステイナビリティ観光学部	19	15	8
合計	59	42	24

■総合評価方式・論述型

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	84	69	64
国際経営学部	60	52	39
サステイナビリティ観光学部	46	41	34
合計	190	162	137

■活動アピール方式

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	232	205	169
国際経営学部	186	146	106
サステイナビリティ観光学部	146	129	98
合計	564	480	373

■帰国生徒（海外就学経験者）選抜

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	15	13	10
国際経営学部	14	14	12
サステイナビリティ観光学部	6	6	6
合計	35	33	28

■国際バカロレア (IB) 選抜

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	3	2	1
国際経営学部	0	0	0
サステイナビリティ観光学部	0	0	0
合計	3	2	1

編入学試験・転入学試験結果

■2024年4月入学

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	2	2	2
国際経営学部	2	2	1
サステイナビリティ観光学部	1	1	1
合計	5	5	4

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

秋期入学試験結果 [2024年9月入学]

■秋期・総合評価方式・論述型

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	2	1	1
国際経営学部	2	1	0
サステイナビリティ観光学部	4	1	1
合計	8	3	2

■秋期・活動アピール方式

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	12	11	10
国際経営学部	21	8	8
サステイナビリティ観光学部	8	6	6
合計	41	25	24

■秋期・帰国生徒（海外就学経験者）選抜

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	10	9	9
国際経営学部	10	6	5
サステイナビリティ観光学部	2	2	2
合計	22	17	16

■秋期・国際バカロレア（IB）選抜

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	0	0	0
国際経営学部	4	2	2
サステイナビリティ観光学部	0	0	0
合計	4	2	2

編入学試験・転入学試験結果

■2024年9月入学

学部	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数
アジア太平洋学部	3	3	3
国際経営学部	2	2	1
サステイナビリティ観光学部	0	0	0
合計	5	5	4

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

一般選抜入試結果 [2024年4月入学]

アジア太平洋学部 (APS)

入試方式	志願者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	128	40	320	197	61.6%
英語重視方式	97	58	250	165	66.0%
共通テスト併用方式	68	52	300	196	65.3%
共通テスト方式 (7科目型)	20	17	900	619	68.8%
共通テスト方式 (5科目型)	22	13	1,000	715	71.5%
共通テスト方式 (3教科型)	127	88	500	369	73.8%
後期方式	63	7	220	139	63.2%
共通テスト+面接方式	4	3	400	286	71.5%
共通テスト方式 (後期型・5科目型)	4	3	1,000	724	72.4%
共通テスト方式 (後期型・4科目型)	4	3	800	522	65.3%
共通テスト方式 (後期型・3教科型)	18	7	500	384	76.8%

国際経営学部 (APM)

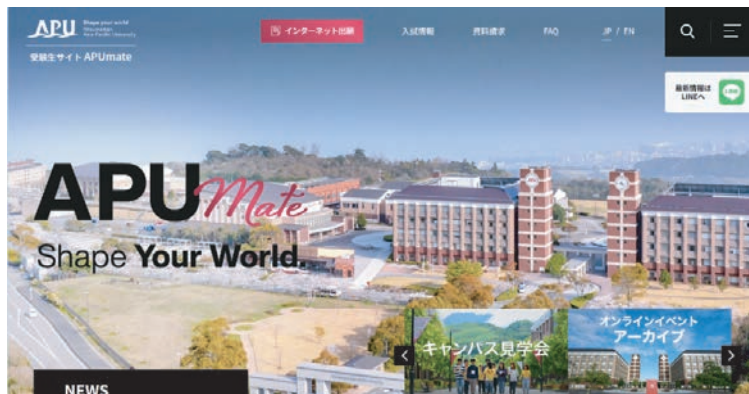
入試方式	志願者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	166	47	320	199	62.2%
英語重視方式	79	42	250	167	66.8%
共通テスト併用方式	81	31	300	214	71.3%
共通テスト方式 (7科目型)	26	19	900	616	68.4%
共通テスト方式 (5科目型)	30	14	1,000	688	68.8%
共通テスト方式 (3教科型)	109	61	500	354	70.8%
後期方式	72	2	220	145	65.9%
共通テスト+面接方式	3	1	400	287	71.8%
共通テスト方式 (後期型・5科目型)	3	1	1,000	745	74.5%
共通テスト方式 (後期型・4科目型)	7	2	800	636	79.5%
共通テスト方式 (後期型・3教科型)	13	2	500	404	80.8%

サステイナビリティ観光学部 (ST)

入試方式	志願者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	170	47	320	180	56.3%
英語重視方式	66	42	250	153	61.2%
共通テスト併用方式	96	46	300	191	63.7%
共通テスト方式 (7科目型)	21	15	900	557	61.9%
共通テスト方式 (5科目型)	29	23	1,000	627	62.7%
共通テスト方式 (3教科型)	132	80	500	327	65.4%
後期方式	84	14	220	121	55.0%
共通テスト+面接方式	4	2	400	266	66.5%
共通テスト方式 (後期型・5科目型)	3	3	1,000	604	60.4%
共通テスト方式 (後期型・4科目型)	7	3	800	539	67.4%
共通テスト方式 (後期型・3教科型)	20	10	500	328	65.6%

APUの入試情報を知る

APU受験生サイト APUmate



<https://www.apumate.net/>

入試案内／インターネット出願

各方式の概要や入試要項のダウンロード、入試FAQなど確認ができます。また出願に必要な資料や出願もすべて本サイトから行っていただけます。



入試イベント

APUキャンパスや東京キャンパスで実施されるイベントやオンラインイベントの配信を行っています。参加申込も本サイトからできます。



デジタルパンフレット・動画アーカイブ

時間を選ばずいつでも見られる動画を公開しています。すべての冊子をデジタルで公開しています。

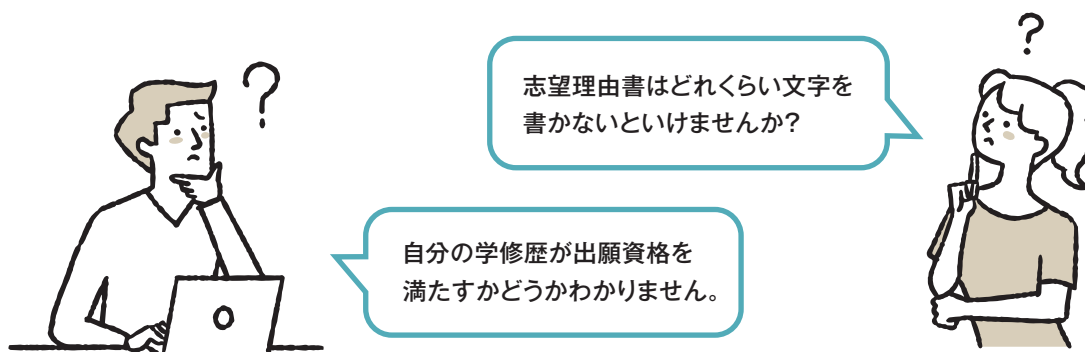


Q&A

受験生サイトAPUmateでよくある質問への回答を掲載しています。ご活用ください。



https://www.apumate.net/admissions_guide/faq/



公式SNS

@apumate
で検索



イベント・入試のプッシュ通知

@_APUMATE_
で検索



学生の声がリアルにわかる!

@ritsumeikanapu
で検索



大学全体の情報をつぶやき

立命館アジア太平洋大学
で検索



動画でわかるAPU



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学
アドミッションズ・オフィス

〒874-8577 大分県別府市十字原1丁目1番
TEL:0977-78-1120(平日9:00~17:30)
FAX:0977-78-1199
Email: apumate@apu.ac.jp



2024 年 6 月発行